

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 5 月 15 日 (2014.5.15)

【公表番号】特表 2013-528213 (P2013-528213A)

【公表日】平成 25 年 7 月 8 日 (2013.7.8)

【年通号数】公開・登録公報 2013-036

【出願番号】特願 2013-514169 (P2013-514169)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/20 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 K 47/12 (2006.01)

A 6 1 P 7/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 9/20

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 47/12

A 6 1 P 7/00

A 6 1 P 35/02

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 3 月 27 日 (2014.3.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エザチオスタット塩酸塩の結晶性非溶媒和物、顆粒内賦形剤、および顆粒外賦形剤を含む医薬的に許容される錠剤であって、エザチオスタット塩酸塩が錠剤の 7.5 ~ 8.2 重量パーセントを構成する、錠剤。

【請求項 2】

エザチオスタット塩酸塩が結晶形 D を含む、請求項 1 に記載の医薬的に許容される錠剤。

【請求項 3】

該錠剤が 100 mg ~ 1250 mg のエザチオスタット塩酸塩を含む、請求項 1 に記載の医薬的に許容される錠剤。

【請求項 4】

顆粒内賦形剤がマンニトール、クロスカルメロースナトリウム、およびヒプロメロースからなる群から選択される、請求項 1 に記載の医薬的に許容される錠剤。

【請求項 5】

顆粒内賦形剤がマンニトール、クロスカルメロースナトリウム、およびヒプロメロースの混合物を含む、請求項 4 に記載の医薬的に許容される錠剤。

【請求項 6】

顆粒内賦形剤が錠剤の17 ~ 21重量パーセントを構成する、請求項5に記載の医薬的に許容される錠剤。

【請求項7】

顆粒内賦形剤の総量が錠剤の19 ~ 20重量パーセントである、請求項6に記載の医薬的に許容される錠剤。

【請求項8】

顆粒内賦形剤混合物に用いられるマンニトールの量が錠剤の13 ~ 15重量パーセントの範囲にある、請求項7に記載の医薬的に許容される錠剤。

【請求項9】

顆粒内賦形剤混合物に用いられるクロスカルメロースナトリウムの量が錠剤の1.5 ~ 3.5重量パーセントの範囲にある、請求項7に記載の医薬的に許容される錠剤。

【請求項10】

顆粒内賦形剤混合物に用いられるヒプロメロースの量が錠剤の2 ~ 4重量パーセントの範囲にある、請求項7に記載の医薬的に許容される錠剤。

【請求項11】

顆粒内賦形剤混合物に用いられるマンニトールの量が錠剤の13.5 ~ 14.5重量パーセント、顆粒内賦形剤混合物に用いられるクロスカルメロースナトリウムの量が錠剤の2 ~ 3重量パーセント、および顆粒内賦形剤混合物に用いられるヒプロメロースの量が錠剤の2.5 ~ 3.5重量パーセントである、請求項1に記載の医薬的に許容される錠剤。

【請求項12】

顆粒外賦形剤がクロスカルメロースナトリウムおよびステアリン酸マグネシウムの1つ以上から選択される、請求項1に記載の医薬的に許容される錠剤。

【請求項13】

顆粒外賦形剤混合物に用いられるクロスカルメロースナトリウムの量が錠剤の1.5 ~ 3.5重量パーセントである、請求項12に記載の医薬的に許容される錠剤。

【請求項14】

顆粒外賦形剤混合物に用いられるステアリン酸マグネシウムの量が錠剤の0.5 ~ 1.5重量パーセントである、請求項12に記載の医薬的に許容される錠剤。

【請求項15】

顆粒外賦形剤混合物に用いられるクロスカルメロースナトリウムの量が錠剤の2 ~ 3重量パーセント、およびステアリン酸マグネシウムの量が錠剤の1重量パーセントである、請求項12に記載の医薬的に許容される錠剤。

【請求項16】

顆粒内賦形剤混合物に用いられるマンニトールの量が錠剤の13.5 ~ 14.5重量パーセント、顆粒内賦形剤混合物に用いられるクロスカルメロースナトリウムの量が錠剤の2 ~ 3重量パーセント、および顆粒内賦形剤混合物に用いられるヒプロメロースの量が錠剤の2.5 ~ 3.5重量パーセントであり；

さらに、顆粒外賦形剤混合物に用いられるクロスカルメロースナトリウムの量が錠剤の2 ~ 3重量パーセントの範囲、および顆粒外混合物に用いられるステアリン酸マグネシウムの量が錠剤の1重量パーセントである、請求項1に記載の医薬的に許容される錠剤。

【請求項17】

該錠剤がフィルムコーティングをさらに含む、請求項1に記載の医薬的に許容される錠剤。

【請求項18】

該錠剤が500 mgのエザチオスタット塩酸塩を含む、請求項1に記載の医薬的に許容される錠剤。

【請求項19】

該錠剤が750 mgのエザチオスタット塩酸塩を含む、請求項1に記載の医薬的に許容される錠剤。

【請求項20】

該錠剤が 1 g のエザチオスタット塩酸塩を含む、請求項 1 に記載の医薬的に許容される錠剤。

【請求項 2 1】

該錠剤が 1 . 2 5 g のエザチオスタット塩酸塩を含む、請求項 1 に記載の医薬的に許容される錠剤。

【請求項 2 2】

該錠剤が乾燥剤と共に容器内に保存される、請求項 1 に記載の医薬的に許容される錠剤。

【請求項 2 3】

エザチオスタット塩酸塩の結晶性非溶媒和物、顆粒内賦形剤、および顆粒外賦形剤を含む医薬的に許容される錠剤であって、エザチオスタット塩酸塩が錠剤の 7 5 ~ 8 2 重量パーセントを構成する、錠剤。